

448

の同胞である。オレゴン組では、松島島長及び
倉西政一両者のせいで、やむを得ずのせ取り残された。
シヤトルからの友人中には、浅場、中村幸トシ、中村
進幸(定)、堀田胡氏、戸部(古尾支那に人)、高橋
福光、棚本有貴、西崎、精村(大北師創作)、
平尾日光樓主、伊藤、バナム葉店等の諸君が
らる。未だ他にも居る筈にか、オレゴン組の
諸君は、H Areaに収容されたから、一定時間
以外には往復は限られている。

八月七日(金)

終日凌ぎ易い。

昨日米着の一斉に對する武裝の護衛は、僕らオ一先
費隊に對するものと較べると、極めて緩慢な武裝
兵数は非常に減じられたと同時に、例の軽機関
銃の姿を見なかった。

夜、J Areaで映画。松島及び倉西両君米
訪、オレゴン組と周會更に旧交を温め、両者の
談話を持合すと左の如くである。

Fort Missoulaには松島君一斉移動後は僅
か、五、六名が残つておる筈だが、冗談によると
彼等残留者諸君は其の殆んど全部は、release
者には Parole となる Probability を以て豫想
され、何れは Evaluation Center へ釋放
の身となるかと考へる。オ一先費隊の移動後に

449

おけるインフラ収束所は、日本人に村を待たせ
一変し、ガードの態度を始め、凡ての事に手と
懸けようとして緩和され、寛大になった事は、むしろ
驚く程のものがある。家族からの差入る物等
に対する検閲の如きは、頗る厳格を極め
るに似、又前記の如く食料等の入物を没収
せし其儘に消費するやうになった、節制も并
に速も極められた。又昨今同胞向
に石を磨き種々の美術品や Souvenir を
作製する事が流行し、之に依つて愛と排外
の情が人々に燃えられ、其の如く其の
を待つに至り、おかしな見聞の制作品が出現
する。之れが制作に用いる各種の用具購入に
当局は親切と便宜をはかつてくれる様になった。
又此等の製品を外部に郵送する事も可能と
なった。

Internee に関するジュネーブ協定の條項
は市長が部(日本人自伝団体)に、当局の
注意により掲げられるに至ったのは、最も注目すべ
き現象である。

華府から特派員を以て自派し、日本人の国尋
問をやりひつらつた二名の移民顧問及び通井の
朝鮮人達は、其後も乱暴を極め同胞を虐待
してゐたが、彼等の非人道的態度が華府政
府の耳に入ると、中央政府は調査委員を

450

仕命; 彼等移民官及び通弁に對し、ミジウロ
 本入収容所に於て hearing を開行せしむに
 して日本人の出頭を命ぜらるゝ事實を捜査す
 ると共に、一移民及び通弁が擧げた實際
 を其儘日本人に對し、どんな風にやうに
 平に失礼と相當突進しんでの調査振りをりつた、
 だが日本人は相手と云ふと云ふ訳にはゆかず、
 調査官の遠慮をうけて貰ひ度いと懇々と
 か差ししかへんといふ事である。種々調査の
 結果は右移民官二名及び通弁は罷免さ
 れ、次で Supervisor のカーア長官も其職
 を免じらるゝに至つた。爾來前さうの如く、同収容
 所の空氣は遠く要改され、同胞に對する待
 遇は寛大となり従つてカード陣の如きも、大との
 親しみも以て日本人に接するに至つた。云々。

軍病院五ヶ月

八月十一日。

本日、Internment Camp Hospital へ入院。
 昭和十八年一月六日、退院。此の間日記を
 怠つた。昨日決て決むべく余りにも衰弱し全
 この勇氣が失つたのである。約五ヶ月間の病院
 生活と續リ下記に憶をたゞして、前ねの順序
 を記す事とする。

八月十一日入院に到る迄、約二週間といふ便

胃腸疾患
 入院